

経営比較分析表

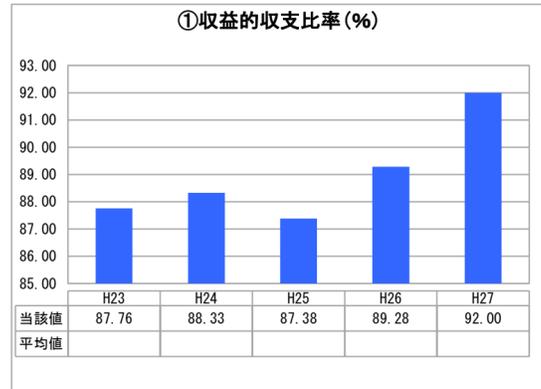
福岡県 柳川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	18.03	89.49	3,390

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,683	77.15	890.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,309	3.64	3,381.59

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



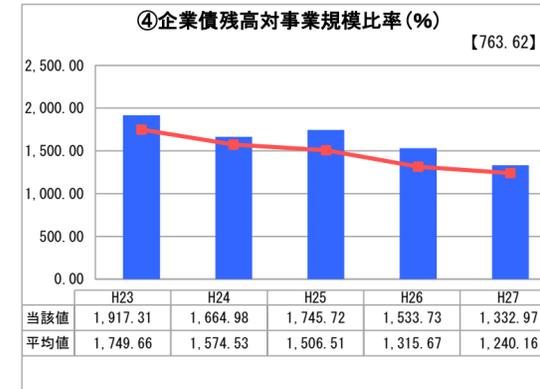
「単年度の収支」



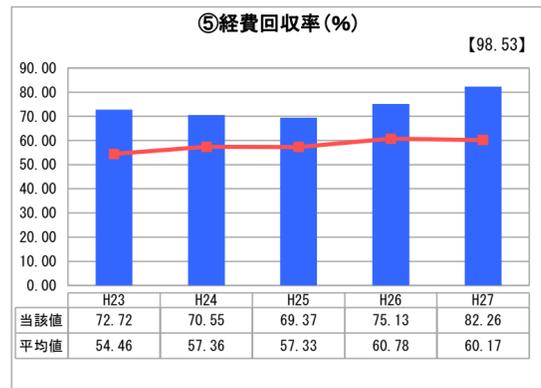
「累積欠損」



「支払能力」



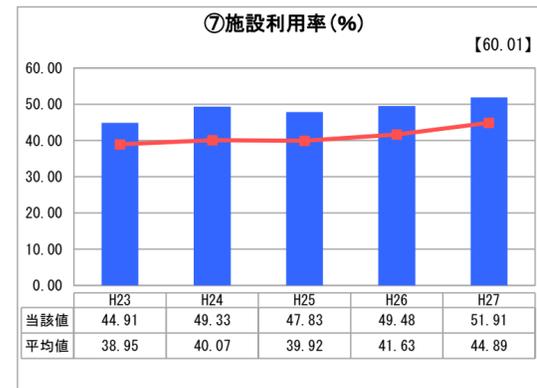
「債務残高」



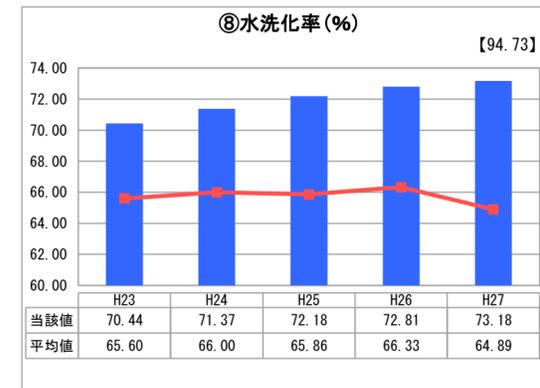
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

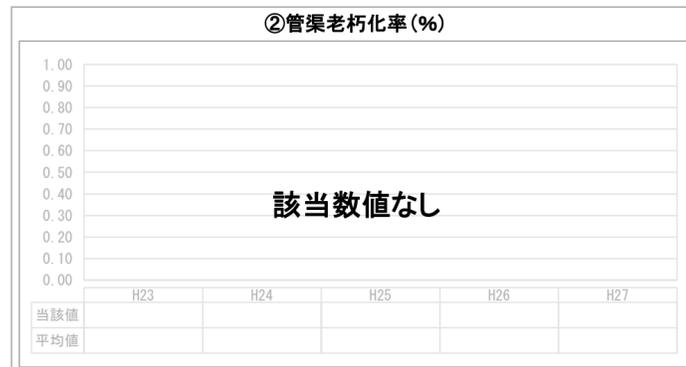


「使用料対象の捕捉」

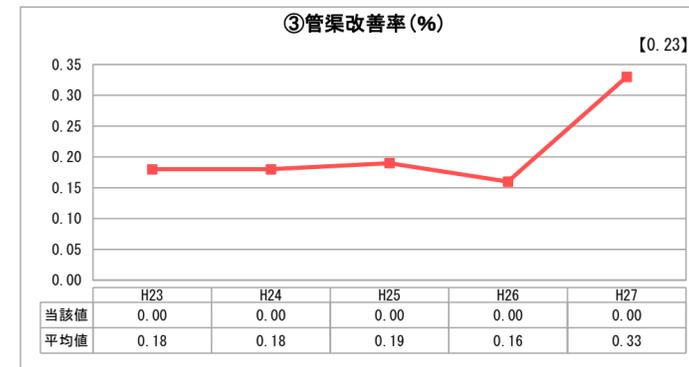
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支率は、平成25年度に一度下がったが、その後上昇傾向になっている。経営改善に向けた取り組みが成果を上げていると思われる。

④企業債残高対事業規模比率は、建設途中であるため類似団体より高い傾向にあるが、減少傾向にある。今後も事業規模の検討や企業債借入額の抑制等により、企業債残高の縮減を図っていく必要がある。

⑤経費回収率は、類似団体より高い傾向にある。今後も適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努めていく必要がある。

⑥汚水処理原価は、類似団体より低い傾向にある。今後も維持管理費の削減、接続率の向上による有収水量の増加に努めていく必要がある。

⑦施設利用率は、類似団体より高く上昇傾向にある。今後も利用率の向上のために未接続者の取り組みに努めていく必要がある。

⑧水洗化率は、類似団体よりも高く増加傾向にある。今後も接続率向上のために未接続者の取り組みに努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善は、まだ法定耐用年数を越えた管渠はないため、管渠の更新や修繕は行っていないが、今後は、適切な施設の維持管理計画を策定し、計画的・効率的な設備の改築・更新を実施していく必要がある。

全体総括

収益的収支は右肩上がりとなっているが、今後も健全な経営を進めていくために、事業規模の検討や適切な施設の維持補修、維持管理費の削減、未接続者の取組に努めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。